頚城・天狗原山～金山、三田原山スキーツアー

２００１年４月２７日（金）夜～２９日（日）

参加者 （L)Oさん、Nさん、Mさん、IWAさん、T(記)

薬師尾根を下る

金山山頂からの滑降

薬師尾根を下る

天狗原山山頂

金山山頂

三田原山山頂

４月２８日（土）快晴

前夜、除雪終点の黒沢橋まで入る。しばらくクロカン滑走してからシールをつける。行く手に真っ白な天狗原山、金山が見える。

杉野沢橋を渡り、小さい高巻きを１回やり、滝沢出合。滝が[illegible]るので一旦左から大きく高巻いてから、薬師尾根に上がる。このアルバイトで結構バテた。

先行の単独おじさんは出合から直接薬師尾根に取りついて[illegible]こちらがラクだ。まもなく右沢に入りそのまま尾根まで詰める。

滝沢の頭で例のおじさんがテント設営中。なおもひたすら薬[illegible]根を天狗原山へ喘登、一旦コルに滑り、緩やかな尾根を金山山頂。妙高、火打、焼、雨飾、戸隠、[illegible]山連峰などの大展望を満喫する。

金山谷滑降の予定だったが、登り返しを嫌い往路を滑降す[illegible]になる。ビールで乾杯し、天狗原山直下の大斜面で、Nカメラマンによる撮影会。極上のザラメを[illegible]ご機嫌の滑り！滝沢の頭より、滝沢に滑りこみ、振子滑降を楽しむ。滝を右から高巻いて滝沢[illegible]

この後は、杉の湯で汗を流した後、苗名の滝駐車場でテント泊する。水はトイレを利用。でもこの水が問題であった。

４月２９日（日）晴れ

広大な杉の原スキー場よりシール登行。近くに見えて結構かかる。暑いのでトイレで汲んだ水をガブ飲み、うん？なんか変な後味！スキー場最上部より、左の沢を渡り、急斜面を喘登し雪庇の尾根に登り着く。　ここでの休憩中にMさんが変な味の正体解明、”クレゾール”らしいと判明。これからさらに外輪山稜線を目指す。昨日の疲れがでて、１人遅れて喘いでいると、稜線直下でガサガサという音、なんと！”熊”が右方の笹尾根を猛スピードで駆け下って行く。呆気にとられて眺めていると下方で沢を横切

り、いましがた登ってきた尾根を横切り、笹ヶ峰方面に姿を消した。

妙高山を右手に眺め、緩やかな稜線伝いに三田原山山頂。缶チューハイ、白ワインで乾杯。Nさん、IWAさんは笹ヶ峰寄りに巻くコース、他は往路で、スタート。外輪山稜線から往路の尾根はまことに快適。Oさんに続き、めいめい好きなライン取りでシュプールを描く。さらに、人気のないスキー場を一人占め感覚で道路までクルージング。

のんびり帰り支度をしながら、Nさん達を案じていると、道路沿いの樹林からひょっこり現れた。下りすぎて、密林や道路歩きで苦労したそうです。真新しい”熊”の足跡もあったとのこと。

例によって杉の湯で打ち上げとする。天候に恵まれよいツアーとなった。お勧めのエリアの１つです。

Powered by FC2.com